



# あきた病院

# だより



## 今月の写真

### 『流れ星に願いを』

現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界規模で爆発的に拡大しています。私たちも見えないウイルスへの不安を抱えながら日々の感染防止に努めています。様々な感染予防策や自粛・制限・ワクチンの開発などが実を結び、ウイルスの脅威から世界中が開放され、平和な日々が戻りますように祈っております。

写真は鳥海山と天の川です。一筋の流れ星に祈りを込めて、またこの景色を眺められることを切に願います。

東5病棟看護師 與齊美穂(写真・文)

## あきた病院の理念

## 心のこもった 癒しの医療

## あきた病院の基本方針

- 1 患者さんの権利を尊重し安心できる医療を提供します
- 2 快適で満足できる療育環境を提供します
- 3 政策医療を担いかつ地域医療に貢献します
- 4 研究・研修を推進し専門性ある医療の向上に努めます
- 5 生きがいのある職場作りを目指します

# 着任のご挨拶

脳神経内科医師 市川 大

今年4月よりあきた病院に赴任しました市川大と申します。生まれ、育ちは秋田県から程遠い愛知県ですが、大学入学と同時に秋田県へやって参りました。いつのまにか大学卒業後6年が経ち、秋田に来てからは13年目になりました。思えば高校まで愛知県で過ごした私としては秋田での生活は驚きと戸惑いの連続でした。経験したことのないような雪、独特な方言など挙げればきりがありませんが、大学時代は良き同級生、先輩・後輩に恵まれ、楽しく過ごすことができました。当時住んでいたアパートの大家さんは一人暮らしの私を心配してか定期的に野菜などの食料をお裾分けしてくれたりと秋田の良き県民性にも触れる機会が多くありました。

大学卒業後は医師としての仕事が始まりましたが、初期研修時に選択した脳神経内科研修で、内科の面白さと同時に脳神経内科の面白さ、奥深さを学び、専門科として選択を決めました。脳神経内科医となってからは治療だけではなく、生活の面においても患者さんと向き合う機会が多くありました。診療の中でつらいことを経験することもありましたが、そのような中で患者さんから頂く言葉が日々の励みや助けになることも多く、これまで充実した毎日を過ごすことができました。また秋田県内の脳神経内科医数はまだまだ少ない状況ではありますが、今では毎年少しずつ脳神経内



科を選択してくれる後輩も増えてきており、うれしさと同時に良い刺激にもなっています。

あきた病院では筋疾患、変性疾患を中心に多くの患者さんが入院されており、一人一人と向き合う時間はこれまで以上に長くなることと思います。新しい環境ではありますが、当院でも患者さんに寄り添う形での医療を引き続き継続していきたいと思っています。慣れないことも多く、病院スタッフの皆様には御迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、精一杯頑張っ参ります。よろしくお願い申し上げます。

## 薬剤科長 金澤 郁夫

4月1日より、あきた病院勤務となりました金澤郁夫と申します。

以前、秋田と道川の病院が合併した平成15年12月から4年ほど勤務していましたが、2度目のあきた病院での勤務になります。

当時は、筋ジス、重心病棟が新しくなった時で、薬剤科は、薬剤師3名と助手2名でした。調剤業務、薬剤管理指導業務が中心でした。現在は外来棟も新しくなっており、素晴らしい環境で働けることを嬉しく思います。薬剤師も5名となり、ICTやNSTなど薬剤師の

専門性を求められる仕事も増えたように感じます。

現在、コロナの影響で、きちんとあいさつ回りもできず、また目元での会話しかできない毎日ですが、いつも以上に皆様の目力を感じております。大変な状況ですが、こんな時こそ普段見えないことが見えてくるはず、また普段気付かないことに気付けるはずと思いながら、職員の皆さんに協力できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 事務部長 長澤 良相

4月1日付で事務部長を拝命しました長澤良相と申します。よろしくお願いいたします。あきた病院での勤務は初めてで、病院の歴史から建物の配置までわからない事ばかり、一日も早く覚えたいと思います。とはいえ、私は生まれも育ちも秋田市、約30年ぶりに地元に戻ってくることができ、また、初めての単身赴任という事で、秋田での仕事を楽みにして赴任して来ました。しかし、今年新型コロナウイルス感染症の影響で例年の春とは全く様相が違い、自粛と我慢の日々がもう2ヶ月以上も続いています。特に医療現場

に与える影響は大きく、マスク等の医療用品不足、感染対策等、日々の負担は計り知れない状況です。社会や経済に与える影響も出ており明るい兆しはまだですが、一人一人がしっかりと努力して一日も早く終息してほしいものです。このような時期に、自分に何ができるか不安なスタートとなりましたが、病院理念でもある「心のこもった癒やしの医療」を皆さんと実践出来るよう微力ながら努力して参ります。



# 看護部の取り組み

## 新採用者研修を終えて

教育担当看護師長 三城 則子

4月より教育担当となりました。新しい環境となり不安もありますが、成長の機会と捉えさらに教育体制の充実に向け努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、看護部では新たに18名(新人12名)の看護職員が仲間入りしました。新型コロナの影響で、研修生はマスクを着用し座席の間隔を空けて座り、研修中も1時間ごとに換気を行い昨年までの



研修風景とは一変しました。配属後の集合研修は、自部署でのナースングスキル学習に変更し、研修担当者が各部署をまわり実技指導を行うなど初めての試みでしたが、他職種の方々、職場の協力があり無事に終えることができました。ありがとうございます。

研修生からは「このような状況なのだから適切な研修方法だと思う」、「実際に講義を受けたかった」、「実技がもっとできると良かった」などの意見があり、今後の研修に活かしていきたいと思っています。

「去年と同じようにできないから難しい」ではなく、柔軟な発想とあきた病院にある充実した学習教材を活用し、現場での機会教育の充実を図り、「なるほど」と腑に落ち「できる、できた、もっと学びたい」と感じてもらえるよう教育環境を整えていきたいと思っています。

## 新採用看護師の一言コメント



### 北1病棟

患者さんが快適に療養生活を過ごせるように、一人一人の個性を大事にした看護を提供していきたいです。

### 南3病棟

患者さんの命に直結する業務も多いため、研修や病棟でしっかり学びながら安全な看護の提供ができるように頑張ります。

### 東4病棟

挨拶と笑顔を忘れずに、患者さんに寄り添った看護を提供できるような、信頼される看護師を目指します。

### 南1病棟

これまで学んできたことや研修、病棟で先輩方から教えていただいたことを活かし、患者さんの笑顔のきっかけになれるように頑張っていきます。

### 北1病棟

患者さんやスタッフの皆さんから信頼していただける看護師を目指して頑張ります。よろしくお願ひします。

### 北1病棟

患者さん一人一人の自分らしい療養生活を支えるために患者さんのことを知って個別性のある看護を行っていきたくたいです。



### 南2病棟

患者さんの性格や特徴を理解して、安全・安楽を保てるように、看護技術を習得して正確に丁寧に実施していきます。

### 南2病棟

患者さんが安心して療養生活を送れるように一人一人の個性を理解しながら看護を提供していきたくたいです。

### 北2病棟

病棟での勤務や研修、先輩方に教えていただいたことなどを活かしていきたくたいです。分からない部分はそのままにせず積極的に質問し、成長できるようにがんばります。

### 北2病棟

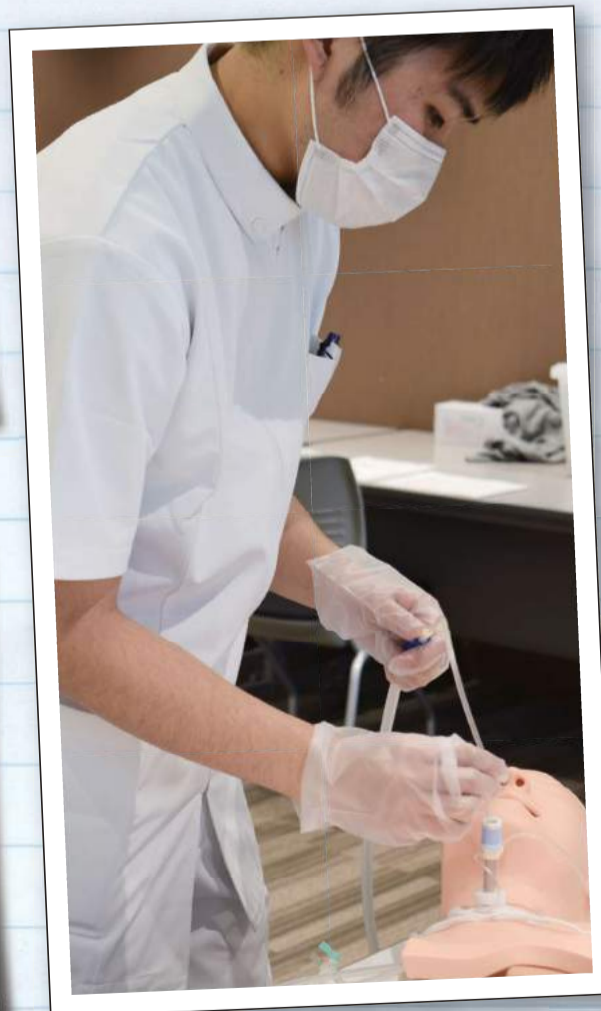
病棟のスタッフの皆さんや患者さんと早くうち解け、職場環境に早く慣れたいと思ひます。また、これからの研修や業務に積極的に取り組み、力になれるようにがんばります。

### 北3病棟

先輩方、患者さんとのコミュニケーションを大切に、まわりに相談しながら自分の技術・知識を向上させていきたくたいです。

### 北3病棟

患者さんそれぞれの疾患や個性を理解しながら、こころのこもった看護を提供していけるよう心がけていきたくたいです。



### 北3病棟

患者さんやスタッフの方々から日々学び、患者さんに提供するケア一つ一つに心を込めて個別性に合わせた看護を実践していきたくたいです。

### 東4病棟

患者さんに安全・安楽な看護を提供できるように、根拠のある知識を増やし、また日々技術の向上に努めていきます。

### 東5病棟

早く病院に慣れ、患者さんの安全安楽に気をつけ、手技の清潔・不潔に留意しながら技術の向上を目指していきたくたいです。

### 東5病棟

一日でも患者さんやスタッフの方から信頼されるよう、日々精進して力になれるよう頑張りたいです。



# これから食中毒も注意

副臨床検査技師長 橘 輝彦

冬も終わり春になり、気温の上昇に伴い細菌性食中毒の発生が懸念されますが、近年、全国的にアニサキスによる食中毒の発症が多発しています。秋田県内においても、今年の3月にしめさばを食べてアニサキスによる食中毒が発生しておりますので注意しましょう。

## ● 秋田県の昨年の食中毒状況(件数15件、患者数108人)

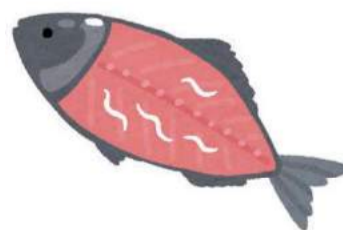
平成31年/令和元年 秋田県食中毒一覧(秋田市含む)

平成31年1月1日～令和元年12月31日

No.	保険所別	発生日	発生場所	摂食者数	患者数	死者数	原因食品	原因物質	原因施設	摂取場所	調理場所	潜伏時間	主症状	発生要因	
1	秋田市	4月2日	秋田市	1	1	0	炒飯	植物性自然毒(スイセン)	家庭	家庭	家庭	—	吐き気、嘔吐	ニラ苗として購入したスイセンの葉を喫食	回収命令
2	湯沢	4月8日	羽後町	2	1	0	ホッケ刺身	アニサキス	家庭	家庭	家庭	8時間	胃痛、吐き気	アニサキスが寄生したホッケの喫食	—
3	秋田市	4月22日	秋田市	21	5	0	不明	カンピロバクター・ジュジュニ/コリ	不明	不明	不明	不明	下痢、発熱、悪寒	不明	—
4	大仙	5月3日	仙北市	2	2	0	スイセン	植物性自然毒(スイセン)	家庭	家庭	家庭	30分	嘔吐、下痢	スイセンとニラを誤食	—
5	能代	5月3日	能代市	不明	1	0	不明	アニサキス	不明	不明	不明	不明	胃痛、吐き気	アニサキスが寄生した食品の喫食	—
6	横手	5月23日	横手市	6	5	0	山菜のおひたし	植物性自然毒(トリカブト)	家庭	家庭	家庭	最長5時間40分 最短1時間10分 平均2時間25分	倦怠感、しびれ、めまい等	トリカブトとシドケを誤食	—
7	湯沢	5月22日	東成瀬村	110	28	0	同給食施設が調理、提供した料理	ウエルシュ菌	事務所	事務所	給食施設	不明	腹痛、下痢	不明	営業停止5日間
8	大館	6月3日	鹿角市	1	1	1	山菜の炒め物	植物性自然毒(イヌサフラン)	家庭	家庭	家庭	2時間30分	嘔吐、腹痛、下痢	イヌサフランとウルイを誤食	—
9	横手	8月4日	横手市	18	3	0	8/1に同施設が調理、提供した料理	カンピロバクター・ジュジュニ	飲食店	飲食店	飲食店	最長84時間 最短62.5時間 平均70.5時間	腹痛、下痢、発熱等	加熱不十分な鶏レバーの喫食	営業停止4日間
10	大館	8月7日	鹿角市	87	54	0	8/7に同施設が調理、提供した料理	その他の病原大腸菌(エシエリキア・アルバーティー)	飲食店 旅館	飲食店 旅館	飲食店 旅館	最長36時間 最短13時間 平均35.9時間	下痢、腹痛、発熱、嘔吐	不明	営業停止3日間(自粛6日間)
11	湯沢	10月23日	湯沢市	4	3	0	キノコの味噌汁	植物性自然毒(コレラタケ)	家庭	家庭	家庭	最長66時間 最短3.5時間 平均21.7時間	下痢、嘔吐、吐き気	コレラタケとナラタケを誤食	—
12	湯沢	10月28日	東成瀬村	1	1	0	キノコの炒め物	植物性自然毒(ツキヨタケ)	家庭	家庭	家庭	2時間	吐き気、嘔吐、腹痛、下痢	ツキヨタケとムキヨタケを誤食	—
13	秋田市	10月29日	不明	1	1	0	不明	アニサキス	不明	不明	不明	不明	不明	不明	—
14	大仙	10月30日	仙北市	2	1	0	サンマ酢味噌和え	アニサキス	家庭	家庭	家庭	3時間	吐き気、嘔吐、腹痛	アニサキスが寄生した食品の喫食	—
15	大仙	11月5日	大仙市	147	1	0	寿司	アニサキス	飲食店	飲食店	飲食店	6時間30分	腹痛、下痢、吐き気	アニサキスが寄生した食品の喫食	営業停止1日間
				403	108	1									

秋田県生活衛生課資料参照

## ● アニサキス食中毒防止のために以下の点に注意してください



加熱する(60℃で1分、70℃以上でアニサキスは瞬時に死滅)

冷凍する(-20℃で24時間以上冷凍することでアニサキスは死滅)

新鮮な魚介類を選び、速やかに内臓を取り除く

内臓を生で食べない。

目視で確認し、アニサキスを除去する。

一般的な料理で使う食酢、醤油、わさびを付けてもアニサキスは死滅しません。



# 外来担当医表

令和2年5月1日以降

診療科	月	火	水	木	金
内科 1	齋藤	奈良	間宮	間宮	齋藤
内科 2			阿部 <small>(糖尿病外来) (第2・4週)</small>		
循環器外来	山本 <small>(第1週)</small>				羽尾
禁煙外来				間宮 <small>(予約制)</small>	齋藤 <small>(予約制)</small>
脳神経内科 1	畠山	豊島	石原 <small>(筋ジス)</small>	阿部	和田
脳神経内科 2	小原	小林		市川	
リハビリテーション科				芋田	芋田
小児科	白崎	渡部 <small>※ (メンタルヘルス外来)</small>	白崎	白崎	白崎
外科				秋田赤十字病院	
整形外科			三浦	三浦	秋田大学附属病院
皮膚科	牧		牧		牧
眼科			今井		細部
耳鼻咽喉科				井谷 <small>(第2・4週)</small>	
歯科	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木

## 外来診療カレンダー

2020年 5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2020年 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2020年 7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

●印は休診日です。

**受付時間** 新患 8:30~11:00 再来 7:15~11:00  
**診察時間** 8:30~17:15(急患はこの限りではありません)

- 再来は予約制となっています。
- 火曜日の小児科、木・金曜日の禁煙外来を初めて希望する場合は事前に連絡願います。
- 火曜日の小児科の診察日は第2・4・5週です(祝日があれば前後の週に振り替えます)。
- 整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科(木・金曜日)の診察は9:30からです。
- 他の病院からの紹介で受診される患者さんは、事前に地域医療連携室までご連絡ください。可能であれば受診の予約をお願いします。

## ICTからのお知らせ

- 新型コロナウイルス感染症の蔓延が懸念されています。当面の間、入院患者への面会は原則禁止です。何卒ご理解ください。
- 風邪症状、胃腸炎症状があって来院する方は、病院入口にある電話(PHS5553)でご連絡ください。

感染制御室

## お願い

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際など医事窓口へ保険証をご提示ください。また、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合も同様に提示をお願いします。

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響により、今年度の外出行事全面中止や面会制限など患者さんの療養生活にも暗い影を落とし、「平穏無事」がいかにありがたいことかを改めて思い知らされています。季節は春から初夏に変わろうとしています。みんなで力を合わせ、新型コロナウイルスを1日でも早く終息させ、穏やかな気持ちで病院周辺の美しい花木をめでたいものですね。(編集委員S)



## 独立行政法人国立病院機構 あきた病院

秋田神経難病医療センター

地域医療連携室

TEL 0184-73-2978 FAX 0184-73-2979

〒018-1393 秋田県由利本荘市岩城内道川字井戸ノ沢84-40

TEL 0184-73-2002 FAX 0184-73-2370

<https://akita.hosp.go.jp/>

発行責任者

院長 奈良 正之

編集委員会委員長

臨床研究部長 和田 千鶴

初めてお越しの方は を目印にしてください。 ●案内看板

●車で羽後本荘駅から28.1km 30分 ●車で秋田駅から23.2km 32分